

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／その他資産（商品）
信託期間	無期限（2011年2月7日設定）
運用方針	主として純金上場信託（現物国内保管型）受益証券への投資を通じて、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。純金上場信託（現物国内保管型）受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。
主要運用対象	純金上場信託（現物国内保管型）受益証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	受益証券発行信託の受益証券への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 純金ファンド

愛称：ファインゴールド

第11期（決算日：2022年1月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 純金ファンド」は、去る1月20日に第11期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近５期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			参 考 指 標 (指 標)	指 数 (価 格)		受 益 証 券 発 行 信 託 の 受 益 証 券 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落		騰 落	中 率		
	円			円			%	%	百万円
7期(2018年1月22日)	12,298			0		4,747	6.3	99.9	13,044
8期(2019年1月21日)	11,620			0		4,521	△ 4.8	100.0	17,069
9期(2020年1月20日)	14,062			0		5,537	22.5	100.0	24,353
10期(2021年1月20日)	15,782			0		6,194	11.9	98.4	51,630
11期(2022年1月20日)	16,869			0		6,771	9.3	99.1	66,063

(注) 当ファンドの参考指数(指標価格)は、大阪取引所(2020年7月22日までは東京商品取引所)における金1グラム当たりの先物価格をもとに現在価値として三菱ＵＦＪ信託銀行が算出した理論価格です。参考指数(指標価格)は、日本における金の店頭小売・買取価格や海外で公表される取引価格とは異なります。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 (騰 落 率)	価 額		参 考 指 標 (指 標)	指 数 (価 格)		受 益 証 券 発 行 信 託 の 受 益 証 券 比 率
		騰 落	率		騰 落	率	
(期 首) 2021年1月20日	円		%			%	%
	15,782		—	6,194		—	98.4
1月末	15,754	△0.2		6,213	0.3		98.2
2月末	15,200	△3.7		6,028	△2.7		99.1
3月末	15,191	△3.7		6,020	△2.8		98.2
4月末	15,493	△1.8		6,192	△0.0		99.1
5月末	16,843	6.7		6,736	8.8		99.2
6月末	15,661	△0.8		6,251	0.9		99.0
7月末	16,068	1.8		6,443	4.0		99.4
8月末	16,006	1.4		6,423	3.7		99.3
9月末	15,582	△1.3		6,227	0.5		99.1
10月末	16,224	2.8		6,563	6.0		99.7
11月末	16,308	3.3		6,530	5.4		99.2
12月末	16,612	5.3		6,653	7.4		99.5
(期 末) 2022年1月20日	円		%			%	%
	16,869		6.9	6,771	9.3		99.1

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

第11期：2021年1月21日～2022年1月20日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第11期首 15,782円

第11期末 16,869円

既払分配金 0円

騰落率 6.9%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.9%の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

円安・米ドル高となったことが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

金価格の下落が基準価額の一時的な下落要因となりました。

第11期：2021年1月21日～2022年1月20日

投資環境について

▶ 金市況

金価格は下落しました。

期首から2021年3月までは米国長期金利の上昇を受け、金利の付かない金売る動きが強まり、金価格は下落しました。

4月以降5月頃にかけては、米国長期金利上昇がピークアウトしたとの見方が広がり、金を買戻す動きが強まりました。その後、9月頃にかけては、米国長期金利は引き続き低下傾向が続きましたが、新型コロナウイルスワクチン接種が進み世界景気の正常化を見据えたりスクオンの展開となり、安全資産と見なされる金の価格は下落傾向となりました。

9月以降、期末にかけては、米国長期金利が再び上昇基調へと転じ、為替も米ドルが買われる展開となりました。金利上昇・米ドル高はいずれも金の売り材料と見なされることが多いのですが、逆に金

価格は反転上昇傾向となりました。実物資産の金への投資をインフレヘッジ手段と捉えたり、オミクロン株による新型コロナウイルス感染症の急拡大、ロシアがウクライナ国境に10万人規模の兵力を集結させ欧米とロシアの主張が平行線をたどり緊張が高まっていることなども安全資産とされる金を買う動きにつながりました。こうしたことから、今後、米国金利の上昇が見込まれる状況下にあって、金は売り一辺倒とはならず、むしろ上昇基調となりました。

期首、期末で見ると金価格は下落しました。

▶ 為替市況

期首から期末まで大きな流れとしては、日米金利差拡大を背景に円安・米ドル高が進みました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

純金上場信託（現物国内保管型）を主要投資対象とし、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざして運用を行いました。

▶ 参考指数との比較

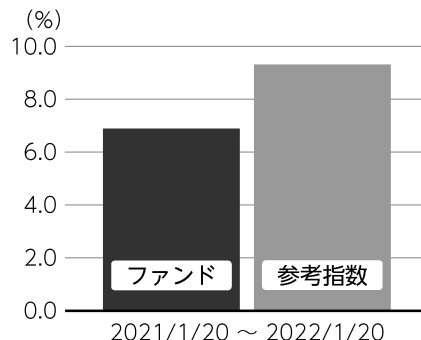
ドル建て金価格は下落しましたが、円安・米ドル高が進行し、円建て金価格は上昇しました。その結果、参考指数は期首と比べて9.3%の上昇となり、当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の

果実」についても7.6%上昇しました。当ファンドと参考指数のカイ離のうち、△1.7%程度は参考指数と当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の果実」の値動きが必ずしも一致しないことに起因するものです。また、△0.7%程度は当ファンドにおいて一定のキャッシュを保有していることや信託報酬、取引コスト等によるものです。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数は指標価格です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第11期 2021年1月21日～2022年1月20日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	6,869

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

純金上場信託「金の果実」を高位に組み入れることにより、わが国の取引所における金価

格の値動きをとらえることをめざします。

2021年1月21日～2022年1月20日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	88	0.550	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(40)	(0.247)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(40)	(0.247)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(9)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.013	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（投資信託証券）	(2)	(0.013)	
(c) その他費用	0	0.003	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	90	0.566	

期中の平均基準価額は、15,988円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

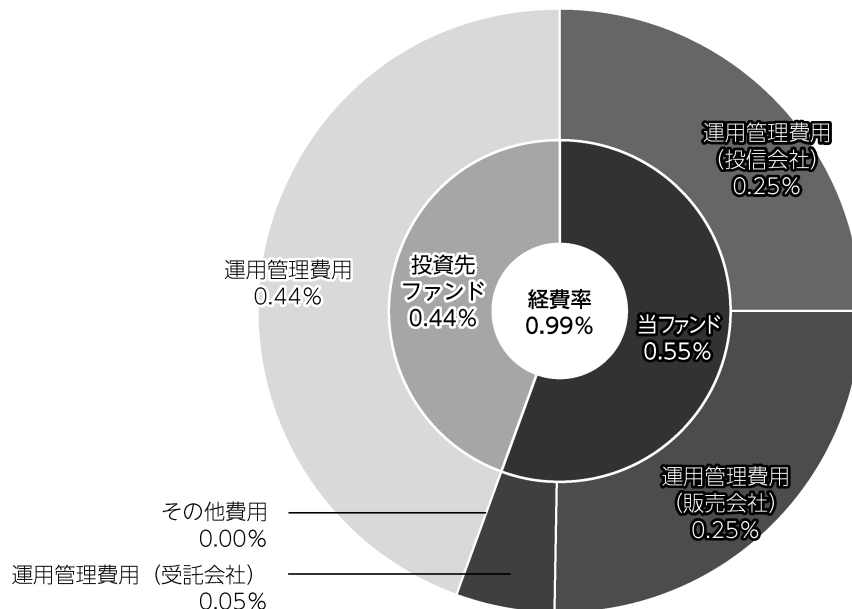
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は0.99％**です。



経費率 (①+②)	(%)	0.99
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.55
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.44

(注) ①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、前記には含まれておりません。

○売買及び取引の状況

(2021年1月21日～2022年1月20日)

受益証券発行信託の受益証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	純金上場信託（現物国内保管型）	千口	千円	千口	千円
		2,161	13,075,837	483	3,009,597

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年1月21日～2022年1月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
受益証券発行信託の受益証券	百万円 13,075	百万円 299	% 2.3	百万円 3,009	百万円 —	% —

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
受益証券発行信託の受益証券	百万円 13,075	百万円 3,009	百万円 65,484

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	7,479千円
うち利害関係人への支払額 (B)	230千円
(B) / (A)	3.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪ信託銀行、三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年 1 月20日現在)

国内受益証券発行信託の受益証券

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
純金上場信託（現物国内保管型）		千口 8,479	千口 10,157	千円 65,484,751	% 99.1
合 計	口 数 ・ 金 額	8,479	10,157	65,484,751	
	銘 柄 数<比 率>	1	1	<99.1%>	

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

【ＥＴＦ（上場信託）の概要】

ＥＴＦの直近の入手しうる有価証券報告書等から抜粋して作成しています。

ファンド名	純金上場信託（現物国内保管型）（愛称：「金の果実」）
内 容	金地金を信託財産とした信託に係る受益権を金融商品取引所に上場し、受益者の投資に資するよう受託者が主として金地金を信託財産として管理及び処分することを目的とするＥＴＦです。
指 標 価 格	金地金の現在価値を算出するために、大阪取引所における金１グラムあたりの先物価格を、金のフォワードレートで現在価値に引き直した理論価格として受託者が算出します。
決 算 月	１月

【損益計算書】

（単位：千円）

（自 2020年 1月21日 至 2021年 1月20日）

営業収益	その他の事業収益	(注 1) 106,213
	営業収益合計	106,213
営業費用	受託者報酬	465,907
	その他費用	12,637
	その他の事業費用	-
	営業費用合計	478,544
営業損失（△）		△372,331
営業外収益	受取利息	0
	営業外収益合計	0
経常損失（△）		△372,330
税引前当期純損失（△）		△372,330
当期純損失（△）		△372,330

（注 1）その他の事業収益とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による利益であります。

【信託財産を構成する資産の内容】

①金地金

資産の種類	金地金
品 質	信託契約に定める所定の要件（注 1）を満たすもの
質 量	22,942,215.393 g (2021年 1月20日時点)（注 2）
価 格	114,632,672,311円 (2021年 1月20日時点)（注 3）
保 管 場 所	サブ・カストディアン ^① の倉庫（日本国内）

（注 1）純度が99.99%以上のものを指します。

（注 2）受託者は、信託報酬等の支払い等に必要な限度で信託財産を構成する金地金を売却しますので、信託財産を構成する金地金の質量はかかる売却により減少します。売却される信託財産を構成する金地金の質量は、信託報酬等の額と売却時における信託財産を構成する金地金の市場価格によって異なります。また、信託財産は、追加信託により増加し、転換により減少する場合があります。

（注 3）計算期間末日（2021年 1月20日）時点における金地金の総額（簿価）を記載しております。

○投資信託財産の構成

(2022年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
受益証券発行信託の受益証券	千円 65,484,751	% 98.7
コール・ローン等、その他	868,530	1.3
投資信託財産総額	66,353,281	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年1月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	66,353,281,716
コール・ローン等	868,530,363
受益証券発行信託の受益証券(評価額)	65,484,751,353
(B) 負債	290,180,857
未払金	24,160,046
未払解約金	95,019,394
未払信託報酬	170,116,371
未払利息	504
その他未払費用	884,542
(C) 純資産総額(A－B)	66,063,100,859
元本	39,161,839,823
次期繰越損益金	26,901,261,036
(D) 受益権総口数	39,161,839,823口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,869円

<注記事項>

- ①期首元本額 32,714,151,492円
期中追加設定元本額 21,064,374,447円
期中一部解約元本額 14,616,686,116円
また、1口当たり純資産額は、期末1.6869円です。

②分配金の計算過程

項 目	2021年1月21日～ 2022年1月20日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	3,877,694,913円
収益調整金額	21,126,953,517円
分配準備積立金額	1,896,612,606円
当ファンドの分配対象収益額	26,901,261,036円
1万口当たり収益分配対象額	6,869円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況 (2021年1月21日～2022年1月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 118,690
受取利息	2,412
支払利息	△ 121,102
(B) 有価証券売買損益	4,201,197,631
売買益	4,747,768,030
売買損	△ 546,570,399
(C) 信託報酬等	△ 323,425,115
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,877,653,826
(E) 前期繰越損益金	1,896,535,003
(F) 追加信託差損益金	21,127,072,207
(配当等相当額)	(17,987,149,810)
(売買損益相当額)	(3,139,922,397)
(G) 計(D+E+F)	26,901,261,036
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	26,901,261,036
追加信託差損益金	21,127,072,207
(配当等相当額)	(17,987,149,810)
(売買損益相当額)	(3,139,922,397)
分配準備積立金	5,774,307,519
繰越損益金	△ 118,690

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱ＵＦＪ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。